

(4) 実施状況

航次	実施年月日	船名	定点数	調査員	備考**
1	昭和56年4月17～18日	くろしお	10	金城	A線
2	" 5月19～20日	"	10	金城	A線
3	" 6月10～11日	"	18	金城	A・B線
4	" 7月7～8日	"	10	金城	A線
5	" 8月26日	関南丸	10	金城・大島*	A線
6	" 9月16～17日	くろしお	18	金城	A・B線
7	" 10月7～8日	"	10	金城	A線
8	" 11月14日	関南丸	8	金城・山本	B線
9	" 12月17～18日	くろしお	10	金城	A線
10	昭和57年1月8～9日	"	10	金城	A線
11	" 2月4～5日	関南丸	10	金城・宮城・大島*	A線
12	" 3月16～17日	くろしお	18	金城	A・B線

* 沖縄県水産試験場漁業調査船 くろしお

** A線とは、沖縄南部、B線とは金武湾沿岸定線を意味する。

3. 情報交換推進事業

1) 情報の収集

(1) 海況情報

表面水温データは県下のマグロ船(19トン型)に依頼し、漁業無線局を通じ時刻、位置、水温のデータを得る。これらのデータを毎週水金曜にセンターにテレファックスで送信する。

(2) 漁況情報

マグロ、カジキ、カツオが水揚される市場及び漁況へ依頼し、毎日の船別、魚種別、銘柄別水揚量及び入港隻数の情報を週一回報告願う。情報収集先はマグロ、カジキ関係が県漁連、那覇地区漁協で、カツオ一本釣が本部漁協、伊良部漁協、八重山漁協から収集している。

2) 対象漁業種類

カツオ一本釣、マグロはえ縄

3) 広報方式

県速報を隔週報とし、周年広報する。

4) 広報対象

各漁協及び漁業関係団体、水研、各県水試、主要市町村等

5) 広報の内容

県下主要市場（漁協）におけるカツオ、マグロ類、カジキ類の水揚量、入港隻数及び沖縄近海の表面水温分布図

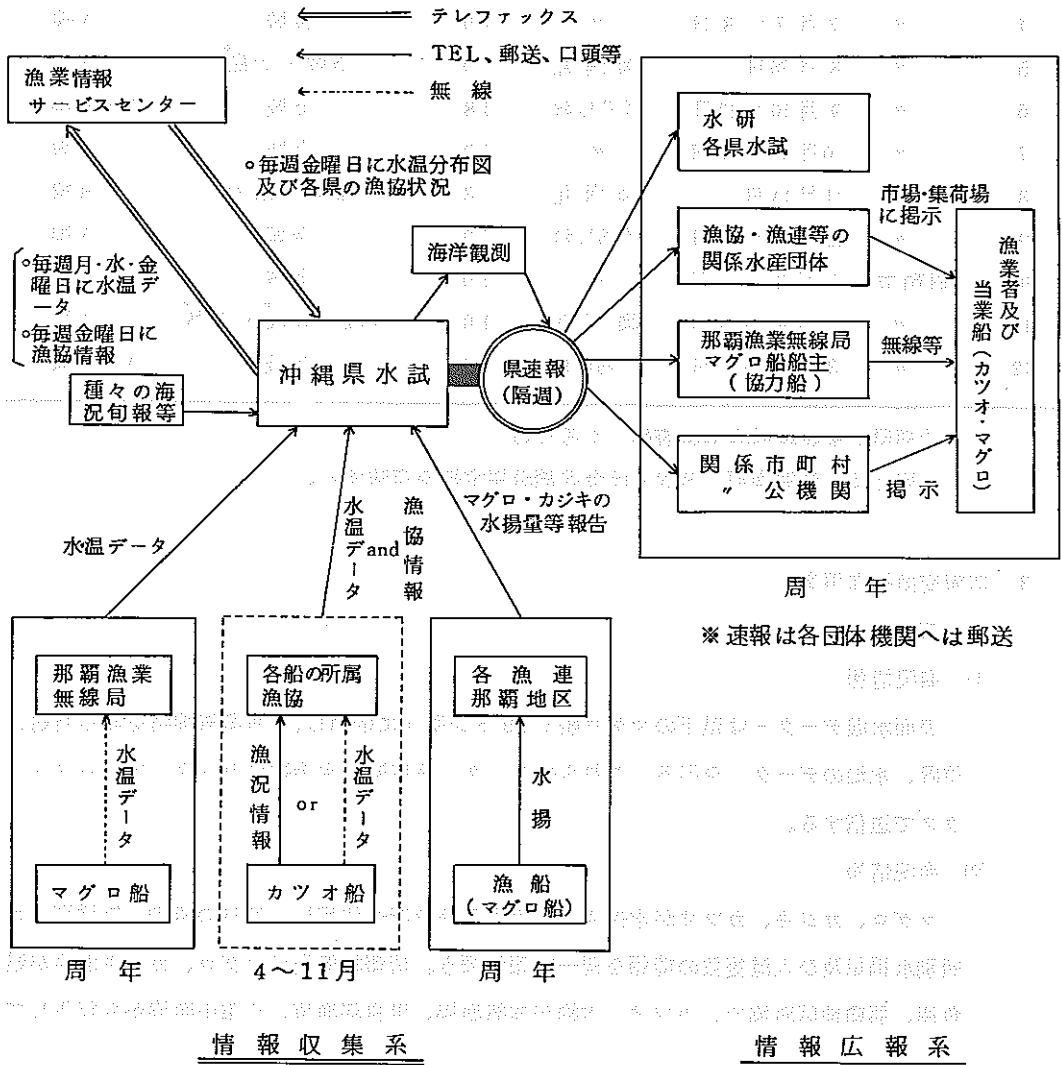


図-3 情報交換推進事業のフローチャート